

# MÉMOIRES 2021

## マイルチャンピオンシップ

第38回マイルチャンピオンシップ(GI)優勝馬グランアレグリア



### これが最強マイラーのラストラン

短距離女王が貫禄の末脚で連覇を達成。鮮やかに有終の美を飾った。

京都競馬場が整備工事中のため、秋の最強マイラー決定戦は2年連続で阪神競馬場にて行われることとなった。中心は前年の覇者で、これがラストランとなるグランアレグリア。前走は天皇賞(秋)で2000mの距離に挑戦して3着と敗れていたが、マイルなら負けるわけにはいかない。最後の戦いに臨む2020年のJRA賞最優秀短距離馬を、ファンは単勝1.7倍と断然の1番人気に支持した。

そのグランアレグリアは、中団の後方寄りでレースを進めた。序盤のポジション争いが落ち着き、逃げるホウオウアマゾンと、同じ阪神マイルの朝日杯フューチュリティSで好走歴のある3頭、2018年の2着馬クリノガウディー、2019年、2020年の覇者サリオスとグレナディアガーズが好位で追った。

馬群の外から徐々に進出し、8番手で4コーナーを回ったグランアレグリアは直線、大外から次元の違う末脚を繰り出す。内から抜け出そうとするインディチャンプらを軽々と交わし去ると、追いすがる2頭の3歳馬シュネルマイスターとダノンザキッドも退け、史上6頭目のマイルチャンピオンシップ連覇を達成。左こぶしでガッツポーズを作ったクリストフルメール騎手は、その手でパートナーの首筋を優しく撫でて感謝の気持ちを表現した。

レース後、「ラストランだったので本当のグランアレグリアを見せたかった。位置取りはちょっと後ろになったけど、スーパーホースですから気にしないで騎乗しました」と振り返ったルメール騎手は、これがちょうどJRA通算1500勝目のメモリアルウイン。史上19人目、7048戦目での到達は、武豊騎手の7875戦を上回る史上最少騎乗回数であった。

グランアレグリアはこれでGI・6勝目だが、うち5勝が芝のマイル戦。これはグレード制導入後のJRA史上単独最多記録である。管理する藤沢和雄調教師は、実にマイルチャンピオンシップ6勝目。2022年2月の定年を前に、一足早く引退する愛馬の勝利で、自らの歴代最多勝記録を更新してみせたのであった。



▲外からグランアレグリア(帽色・緑)が進出をはかる。

▶牝馬によるマイルチャンピオンシップ連覇はグランアレグリアが初



#### 第38回マイルチャンピオンシップ(GI)

11/21 阪神競馬場 1600m(芝・右・外) 曇・良 16頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	グランアレグリア	牝	5	55	C.ルメール	藤沢 和雄	1:32.6	①	12⑧
2	シュネルマイスター	牡	3	56	横山 武史	手塚 貴久	3/4	②	8⑧
3	ダノンザキッド	牡	3	56	川田 将雅	安田 隆行	1/2	⑤	8⑧
4	インディチャンプ	牡	6	57	福永 祐一	音無 秀孝	ハナ	⑥	5⑤
5	ホウオウアマゾン	牡	3	56	坂井 瑠星	矢作 芳人	1 1/4	⑦	1①
6	サリオス	牡	4	57	松山 弘平	堀 宣行	クビ	③	3②
7	ダーリントンホール	牡	4	57	和田 竜二	木村 哲也	1/2	⑩	10⑧
8	サウンドキアラ	牝	6	55	武 豊	安達 昭夫	クビ	⑪	5⑤
9	カテドラル	牡	5	57	戸崎 圭太	池添 学	クビ	⑧	14⑬
10	ケイデンスコール	牡	5	57	岩田 康誠	安田 隆行	クビ	⑫	13⑬
11	レインボーフラッグ	牡	8	57	小崎 綾也	小崎 憲	1/2	⑯	16⑯
12	ロータスランド	牝	4	55	田辺 裕信	辻野 泰之	3/4	⑨	7⑤
13	グレナディアガーズ	牡	3	56	池添 謙一	中内田充正	1 3/4	④	3②
14	クリノガウディー	牡	5	57	岩田 望来	藤沢 則雄	クビ	⑭	2④
15	リブレーザ	牡	3	56	幸 英明	大根田裕之	5	⑮	10⑧
16	サウンドカナロア	牡	5	57	藤岡 康太	村山 明	3	⑰	14⑬

単勝 ⑫170円 複勝 ⑫110円 ⑬140円 ⑭300円 枠連(2-6) 270円  
馬連 ③-⑫370円 馬単 ⑫-③540円 ワイド ③-⑫190円 ⑫-⑬630円 ③-⑬970円  
3連複 ③-⑫-⑬1,960円 3連単 ⑫-③-⑬5,460円

ハロンタイム 12.5-11.2-11.9-12.0-11.7-11.1-10.7-11.5  
通過タイム 600m ⑫35.6-800m ⑫47.6-1000m ⑫59.3-1200m ⑫1:10.4-1400m ⑫1:21.1

優勝馬 **グランアレグリア**  
2016.1.24生 父ディーフィンバクト 母タビッツフライ 母の父Tapit  
安平・ノーザンファーム生産 馬主:(有)サンデーレーシング